

平成 22 年 4 月 8 日現在

研究種目：基盤研究 (B)
 研究期間：2007～2010
 課題番号：19330030
 研究課題名 (和文)：先進諸国の経済政策形成における専門性の役割 デモクラシーとの「相克」と「和解」
 研究課題名 (英文)：The Role of Expertise in Economic Policy making in Advanced Countries

研究代表者：高橋直樹 (TAKAHASHI Naoki)
 東京大学・大学院総合文化研究科・教授
 研究者番号：30146948

研究代表者の専門分野：政治学

科研費の分科・細目：

キーワード：政治学、経済政策、専門性、政策形成

1. 研究計画の概要

本研究は、先進デモクラシー諸国の経済政策形成過程における専門性の役割を解明することを目的としている。すなわち、デモクラシーはいかにして専門家を受け入れるのか、専門性は、どのようなエージェントや制度によって政策形成過程に組み込まれているか、専門性はいかなる政治的意義を有するか、といった諸問題について、通時的比較 (時系列的歴史的な発展と変容) と共時的比較 (地域横断的比較) を組み合わせることによって検討を加えることとしている。

2. 研究の進捗状況

各国、各政策分野での専門性 (専門家) に関わる比較を進め、専門性 (専門家) に関する研究の分析枠組みについて、本研究に参加している研究者の間で一定の理解と合意が得られた。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

現在までのところ、ほぼ 2 か月に 1 度の研究会を定期的に行い、各自の研究成果の共有と、専門性 (専門家) 概念についての検討を重ねてきた。これまでの研究成果について、各研究者が 1 章ずつを執筆する形式で叢書の刊行を予定しており、編集作業が進んでいるところである。

4. 今後の研究の推進方策

今後はより広く研究成果を公表し、さらに専門性概念について議論を重ねていくと共に、さらに各自が実施して研究成果を比較の観点から整理していく予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 16 件)

Yu UCHIYAMA, 2009, "Shifting Prime Ministerial Power and Its Consequences on Neo-liberal Reforms in Japan," Roland Czada and Kenji Hirashima eds., *Germany and Japan after 1989: Reform Pressures and Political System Dynamics*, *ISS Research Series*, No33, PP23-37

伊藤正次, 2008, 「改正社会教育関連三法と自治体」『地方自治職員研究』第 577 号 PP22-24

荻田真司, 2008, 「ジョン・デューイの欧州大戦」『國學院法学』第 46 巻 PP1-33

川嶋周一, 2008, 「ヨーロッパ構築過程における共通農業政策の起源と成立 1950-1962」『政策論叢』第 77 巻 3-4 号 PP239-295

藤田由紀子, 2009, 「技術系行政職員の専門性と人事制度の課題」『地方公務員月報』556 巻 PP2-13

ほか

[学会発表] (計 20 件)

2008 年度日本比較政治学会 (2008 年 6 月 21-22 日 慶應義塾大学日吉キャンパス) における自由企画「専門家とデモクラシー：補完と相克」(司会：伊藤武(専修大学) 報告：高橋直樹(東京大学)) 「英国ブレア政権における専門家の役割とデモクラシーの行方」、伊藤正次(首都大学東京) 「日本

の検査行政と『専門性』 金融検査行政を
素材として」討論者：網谷龍介（明治学院
大学） 内山融（東京大学）

Takeshi ITO "Competing for the exits:
Recasting Bismarckian pension reforms
in Europe and Japan" in Annual Meeting
of American Political Science Association.
(Division: Aging Policy and Politics
Group: Crossnational Perspectives on
Aging Politics),September3-6,2009,
Toronto, Canada.

杉之原真子「覇権後の世界における国際金
融危機と国際協力 G7 から G2 への移行？」
日本国際政治学会 2009 年度研究大会（2009
年 11 月 6-8 日）

Rieko KAGE, "Rebuilding from War in
Japan: Information and Coordination,
1945-55," Association for Asian Studies,
March 28,2010, Philadelphis, USA

ほか

〔図書〕(計 10 件)

天野拓、2008、「政府・企業・個人：現代
アメリカにおける医療保障制度をめぐる対
立の構図」(杉田米行(編)2008 年『日米
医療：制度と倫理』

伊藤正次、2008、「国による『上からの』
文献改革 - コア・エグゼクティブの変動と
『併発型』改革の展開」(森田朗・田口一博・
金井利之(編)『政治空間の変容と政策改革
3 分権改革の動態』)

岡山裕、2009、「イデオロギー政治の変容
と連邦司法人事 - 共和党政権の人事戦略の
『転換』を中心に」(五十嵐武士・久保文明
(編著)『アメリカ現代政治の構図』)

川嶋周一、2008、「大西洋同盟の動揺と EEC
の定着」(遠藤乾(編)『原点ヨーロッパ統
合史』)

伊藤武、2009、「イタリアの労働政治 - 歴
史的拘束と新しい環境への適応」(新川利
光・篠田徹(編著)『労働と福祉国家の可能
性』

ほか

以 上